

林業ミニ情報 No.130

平成27年7月

- 1 金砂郷小学校で森林・林業体験学習を実施 1
(常陸太田林業指導所 塚原)
 - 2 なか環境市民会議自然環境部会の取り組みについて 1
(水戸林業指導所 市村)
 - 3 「もりや子育てネットワークまもり」の木育活動について 2
(土浦林業指導所 加藤)
 - 4 桜川市立南飯田小学校で森林・林業体験学習を実施 3
(筑西林業指導所 工藤)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 5
(林業技術センター 益子)

1. 金砂郷小学校で森林・林業体験学習を実施

去る6月16日（火）、常陸太田市立金砂郷小学校の6年生13名と保護者13名を対象に、親子体験学習の一環として森林・林業体験学習を実施しました。

始めに、当林業指導所の林業普及指導員が本県の森林の現状、森林の働き、苗木の生産から木を伐採して利用するまでの流れなどについて説明し、子供たちからは「森林の大切さがわかった」、「森林を大切にしたい」、「森にごみを捨てないようにしたい」といった感想を聞くことができました。

その後、箸づくりの方法や注意事項の説明を行い、参加者に箸づくりを体験してもらいました。箸づくりに使う箸作りキットを1人1台ずつ準備し、参加者全員が木に触れることで、木の肌触りや香りの良さなどを体感してもらいました。

普段使わないかんなに苦戦していた子供たちも徐々にコツをつかみ、時間内に2膳完成させた子もいました。削り終わったお箸を紙やすりで磨き、ザラザラだった表面を簡単に滑らかにできたことが子供たちにとっては驚きだったらしく、木は加工がしやすいと話していました。

お箸づくりを終えて、子供たちから「怪我もせず、楽しくお箸づくりができた」、「親子でお箸づくりができて楽しかった」、「初めて自分で作ったお箸なので大事に使いたい」、「親子で作ったので記念になる」などの感想を聞くことができました。自分だけのお箸を親子で作れたことがいい思い出になったようです。

担任の先生からは「身近に森林はあるが、子供たちが直接木に触れる機会が少ない」という話があり、当林業指導所では、このような体験学習を通して多くの子供たちに森林の大切さや木の良さを伝える活動を続けていきたいと思えます。



森林・林業の説明



箸づくりの様子

（常陸太田林業指導所 塚原 洋明）

2. なか環境市民会議自然環境部会の取り組みについて

去る6月5日（金）「環境の日」に、なか環境市民会議自然環境部会の主催による、「森林整備とCO2削減について」の講演会となか自然の会による「間伐活動の実演」が行わ

れ、森林の整備に関心のある一般市民やボランティア等約25名が参加しました。講演会は、那珂市古徳の総合センターらぼーるで、間伐の実演は市有林を会場に実施されました。

講演会では、同部会長の市野沢氏が「森林整備(間伐)及び化石燃料から木材燃料への切り替えによるCO2削減について」と題して、植樹、下刈り、間伐等の森林整備がCO2削減にどのように貢献するか解説するとともに、木質燃料の導入により化石燃料を削減した実例を紹介しました。

その後、会場を市有林に移し間伐の実演が行われました。間伐の実演を実施したなか自然の会は、いばらき森林クラブ那珂支部を母体に、昨年4月に新規に設立された森林ボランティア団体で、那珂市と市有林整備について覚書を締結したのをはじめ、公園の整備では他団体と連携するなど、活動の場を広げています。

今回は、同会のメンバーが伐採のデモンストレーションを行い、受け口・追い口の意味や安全対策の説明を行いました。伐採を初めて目にする参加者もあり、手際の良さを感じていました。

当林業指導所では、森林整備の意義を広く県民に理解してもらう活動を支援するとともに、森林ボランティア団体の育成を図っていきたくと考えています。

(水戸林業指導所 市村 よし子)



市野沢氏の講演



なか自然の会による間伐の実演

3. 「もりや子育てネットワークままもり」の木育活動について

当林業指導所管内で、子供たちへの木育活動に熱心に取り組んでいる「もりや子育てネットワークままもり」(代表 宮下嘉代子氏)について紹介します。

同団体は、近年、守谷市に転入してきた子育て世代のお父さん・お母さんをメンバーとするボランティア団体で、自分たちの視点から編集した「保育園・幼稚園ガイドブック」等の無償発行による情報発信のほか、田んぼアートなどの親子イベントへの参加、出産・子育ての相談講座等の活動を行うとともに、子供を対象とした木のおもちゃを使った木育活動にも取り組んでいます。

平成26年5月には、東京おもちゃ美術館の協力を得て、イオンタウン守谷で約300点の木製おもちゃを集めた移動型おもちゃ美術館「木のおもちゃ広場」を開催し、3日間で約2,000人の方が来場されるほどの盛況ぶりでした。

これを機に、木育活動はさらに活発化し、平成27年2月には森林湖沼環境税を活用した「元気な森林づくり活動支援事業」の助成を受けて、小学生を対象に、木材に対するイメージや造形を表現する「木のワークショップ」（約200名の参加）を開催するとともに、定期的なイベントとして「木のおもちゃ広場 mini」を月1回から2回のペースで実施しています。

また、今年5月8～10日に2回目の「木のおもちゃ広場」を開催しました。この時には、当林業指導所の林業普及指導員も「箸づくり体験」コーナーの指導者としてイベントに参加協力しましたが、会場は親子連れのお客様（約1,500名の参加）で大変な盛況ぶりでした。

代表の宮下さんは、今後も木育活動を継続し、広く木の良さを体感してもらい、暮らしに木を取り入れてもらうきっかけにしてもらおうとともに、他の地域の同世代の理解者や木の良さをPRする業界・団体とも協力していきたいと、これからの活動の展望も考えておられました。

当林業指導所では、森林環境教育に取り組むボランティア団体への一層の支援や、このような活動を各地域に広めていけるよう、引き続き、支援・指導を行っていきたいと考えています。



木のおもちゃ広場開催の様子



箸づくり指導の様子

(土浦林業指導所 加藤智一)

4. 桜川市立南飯田小学校で森林・林業体験学習を実施

5月29日（金）、桜川市立南飯田小学校において、5年生34名を対象に森林・林業体験学習の一環でヒラタケの植菌体験を行いました。

最初に、当林業指導所の林業普及指導員が森林の働きや林業の役割について説明した後、現在栽培されているきのこの種類等を説明しました。次に、ヒラタケの植菌作業についてパネルを使いながら説明し、作業に移りました。

児童たちは、ヒラタケ菌とコメヌカ、オガコを混ぜ合わせ、あらかじめ玉切りしておいた原木をタワシで洗い、その原木に植菌して自分たちで掘った穴に仮伏せするところまでを体験しました。

植菌作業では、キノコの種菌独特のにおいや混ぜ合わせた材料のヌルヌルした感触に

苦戦していましたが、数をこなしていくうちに慣れたようで、用意した原木に次々と植菌し、菌を山盛りに乗せては友達と自慢しあっていました。

児童たちは「今から10個目の木を運ぶ!」「一番大きい木はどれですか!」とやる気十分に作業をこなし、大きな原木を必死になりながら運ぶ姿は、元気いっぱいでした。

体験終了後の質疑応答の時間には、毒きのこの見分け方やきのこの種類がいくつあるのかなど多くの質問があり、きのこや森林に対する興味が伺えました。質問に対しては、林業普及指導員が1つ1つわかりやすく説明しました。

今回の森林・林業体験学習にあたり、植菌に使用する安全な桜の原木を用意していただくなど、準備段階から学校側にも協力をいただいたことで円滑に実施することができました。

当林業指導所では、今後もこのような体験学習を通して、児童たちの森林・林業に対する興味や理解が深まるよう指導していきたいと考えています。

(筑西林業指導所 工藤 彰斗)



説明の様子



仮伏せの様子

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成27年)

単位：円/m³

区分	樹種	規格	種類	H25年平均	H26年時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
国産材	スギ	m cm cm 3.00×14~20	柱材	13,900	11,200	13,400	12,700	11,800	10,000	8,200									
		3.65×18~28	中目材	14,200	11,100	12,900	12,700	11,800	9,200	8,900									
		4.00×8~13	小径材	14,900	13,500	14,600	14,800	14,400	13,200	10,500									
	ヒノキ	3.00×14~20	柱材	17,700	14,300	15,900	15,900	14,800	12,900	12,000									
		4.00×18~28	中目材	21,400	16,200	18,600	18,200	16,100	14,600	13,400									
		4.00×8~13	小径材	16,400	13,300	14,800	14,400	14,600	11,700	10,900									
	外材	米ツガ	11.00×径・36	コースト	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000								
			11.00×径・28以下	j・ソート	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000								
		米マツ	11.00×径・40	カスケード	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000								
			11.00×径・36	コースト	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000								
カラマツ		4.0	込	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000									
		エゾマツ	3.8	並材	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000								
製材	スギ	m cm cm 3.00×10.5×10.5	柱①	55,500	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000									
		4.00×10.5×10.5	柱②	50,800	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000									
		3.65×1.4×10.0	ヌキ	55,900	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000									
		3.65×3.6×4.5	タルキ	52,900	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000									
		3.65×4.5×10.5	敷居・鴨居	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000									
		4.00×9.0×9.0	母屋	42,200	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000									
	ヒノキ	3.00×12.0×12.0	柱①	111,700	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000								
		4.00×12.0×12.0	土台	110,800	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000								
		4.00×4.5×10.5	敷居・鴨居	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000								
	マツ	4.00×12.0×24.0	平角	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000								
		外材	米ツガ	3.00×10.5×10.5	柱	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000							
	4.00×9.0×9.0		母屋	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000								
	米マツ		4.00×12.0×24.0	梁	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000								
	米ツガ		4.00×12.0×12.0	注入土台	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000								
	エゾマツ		3.80×3.0×4.0	タルキ	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000								
集成材	3.00×10.5×10.5	柱	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000									

注) ヒノキ柱①は、平成11年以前10.5cm角
 集成材は、1本あたりの単価をm³に換算
 カスケード：大陸中央部カスケード山脈から産出される目詰みの材
 コースト：太平洋沿岸部コースト山脈から産出される目荒の材
 j・ソート：北米における末口径11インチ下の細丸太、または日本向け丸太

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
26	着工数	1,931	1,969	1,805	1,872	1,607	1,565	1,978	1,716	1,858	2,191	1,762	2,117	22,371
	木造数	1,523	1,407	1,308	1,145	1,220	1,256	1,282	1,218	1,307	1,362	1,297	1,306	15,631
	木造率	78.9%	71.5%	72.5%	61.2%	75.9%	80.3%	64.8%	71.0%	70.3%	62.2%	73.6%	61.7%	69.9%
	累計	1,931	3,900	5,705	7,577	9,184	10,749	12,727	14,443	16,301	18,492	20,254	22,371	
27	着工数	1,623	1,795	1,862	1,772	1,782								8,834
	木造数	1,127	1,151	1,098	1,316	1,298								5,990
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	74.3%	72.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	67.8%
	累計	1,623	3,418	5,280	7,052	8,834	8,834	8,834	8,834	8,834	8,834	8,834	8,834	

